

課題と実績

安全に関する 2017 年度の課題と実績、2018 年度の課題は、以下の通りです。

管理項目	重点課題	2017年度の実施状況	評価	2018年度の実施予定項目
管理システム	1.安全衛生マネジメントシステムの継続的改善と実行	<ul style="list-style-type: none"> 工場長および部門長がコミットメントを発信し、積極的に関与 安全衛生マネジメントシステムに基づく年間管理計画を策定 内部監査の審議の充実による、実効ある安全活動の推進 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 工場長および部門長によるコミットメントと積極的な関与（継続） 安全衛生マネジメントシステムに基づく、適切なPDCAサイクル¹⁾の実行 内部監査の充実による、実効ある安全活動の推進（PDCAを監査する）
	2.環境保安監査の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> 環境保安監査での指摘事項に対する的確なフォローアップを実施 工場地区内の関連会社の環境保安監査の質的向上 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 環境保安監査での指摘事項に対する的確なフォローアップの実施（継続） 工場地区内の関連会社の環境保安監査の質的向上（継続） 海外製造拠点への指導や監査による積極的な関与
	3.変更管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 工場の変更管理にかかる基準類の整備と見直しを実施 工場の変更管理の運用状況の確認と遵守徹底 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 工場の変更管理の運用状況の確認と遵守徹底（継続） 4M²⁾変更時のリスクアセスメント(危険性評価)の実施
保安防災	1.重大事故件数ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故件数ゼロを達成 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故件数ゼロ
	2.設備やプロセスの安全性の向上	<ul style="list-style-type: none"> プロセスリスクアセスメントによる危険性評価の技術の向上と対策を実施 非常作業、非常操業の安全対策や事故トラブル事例検討を実施 保安力向上センターの保安力評価システムを活用 	○	<ul style="list-style-type: none"> 定期的見直しを含めたプロセスリスクアセスメントの実施 非常作業・非常操業の安全対策や事故やトラブルの事例検討の実施（継続） 自部門に関係する社内外の事故災害情報の入手と検証 可燃性粉体、可燃性液体の取り扱いに関するガイドラインの運用実態の調査 保安力向上センターの保安力評価システムの活用（継続）
	3.設備および保全管理の向上	<ul style="list-style-type: none"> 設備トラブルの原因の徹底的な追及と、再発防止と設計技術の向上 設備保全の維持向上（計画的な補修などによる、老朽化した配管や設備の保全管理） 	○	<ul style="list-style-type: none"> 設備トラブルや事故事例の情報収集、原因の解析、および再発防止の徹底（継続） 設備保全の維持向上（ラプチャーディスク³⁾と安全弁間の気密点検の実施、老朽化した配管や設備の計画的な補修
	4.緊急時対応の充実	<ul style="list-style-type: none"> 重大災害や大地震などの最悪の事態を想定した対応を検討 緊急時対応基準・マニュアルを整備 事業継続計画訓練の計画的な見直しと想定訓練を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> 重大災害や大地震などの最悪の事態が発生した際の、被害想定と被害最小化の検討 緊急時対応基準・マニュアルの整備（継続） 事業継続計画訓練の計画的な見直しと想定訓練の実施（継続）
	5.工場の保安の強化	<ul style="list-style-type: none"> 外部侵入者の防止対策を強化 	○	<ul style="list-style-type: none"> 外部侵入者の防止対策の強化（継続） 工場来場者への、危険情報および事故災害発生時の避難方法などの通知
労働安全	1.休業災害人数ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> 信越化学グループは3名 信越化学はゼロで、達成 	△	<ul style="list-style-type: none"> 休業災害人数ゼロ
	2.不休以上の災害度数率0.5以下	<ul style="list-style-type: none"> 信越化学グループは0.50で、達成 信越化学は0.68 	×	<ul style="list-style-type: none"> 不休以上の災害度数率0.5以下
	3.ヒューマンエラーの低減	<ul style="list-style-type: none"> ヒューマンエラーが原因の事故災害の発生を防止 	○	<ul style="list-style-type: none"> ヒューマンエラーによる事故災害の未然防止（継続）
	4.作業の安全性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「ゼロ災」活動の推進（KY活動、指差し呼称、5S⁴⁾活動を実践） ヒヤリハット提案および改善提案の推進と改善の実施（推進目標を設定） グループ事故災害事例や他社災害事例の、グループ内への確実な水平展開を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> 「ゼロ災」活動の推進（KY活動、指差し呼称、5S活動の実践）（継続） ヒヤリハット提案および改善提案の推進と改善の実施（推進目標の設定）（継続） グループ事故災害事例や他社事例の水平展開の実施（継続） ルールやマニュアルを遵守する安全風土の醸成
	5.作業マニュアルの整備と遵守の確認	<ul style="list-style-type: none"> 作業マニュアルの整備の計画的な見直しの実施 作業マニュアルの内容を充実 作業マニュアルの遵守状況の確認を実施 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 作業および操業マニュアルの整備（定常、非常、緊急時対応など） 作業および操業マニュアルの内容の充実（管理者の関与強化） 作業および操業マニュアルの遵守状況の確認
	6.作業のリスクアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づく作業のリスクアセスメントを実施 作業のリスクアセスメント実施結果および決定事項の、確実な実施とフォローを実施 リスク抽出のスキルを向上 	○	<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づく作業のリスクアセスメントの実施 労働安全衛生法で定められているリスクアセスメントの実施 自職場の危険な作業および非常作業のリスクアセスメントの実施 作業のリスクアセスメント結果の適切な反映 作業のリスクアセスメントのスキル向上
	7.工事および非常作業の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 明確な作業指示、作業手順の明確化、KYを実施 工事ルールの厳格な運用を実施 作業前および完了、復旧時の確認方法の構築と徹底を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> 明確な作業指示、作業手順の明確化、KYの実施（継続） 工事ルールの厳格な運用（継続） 工事依頼部門と施工部門それぞれの責任の明確化と責任業務の確実な履行
	8.教育、訓練の推進	<ul style="list-style-type: none"> 教育訓練を計画的に実施 資格取得を奨励 	○	<ul style="list-style-type: none"> 教育訓練の計画的な推進（継続） 資格取得の奨励（継続）
	9.業務委託の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> 業務委託先に対する安全管理の指導強化とフォローアップを実施 作業マニュアルや危険性および有害性情報（SDS）、作業環境測定結果などの安全情報の提供と見直しを実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> 製造元方としての業務委託先への安全管理の指導強化とフォローアップ（継続） 作業マニュアル、危険性有害性情報（SDS）、作業環境測定結果などの安全情報の提供と見直し（継続）
労働衛生	1.快適職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 作業環境測定の実施と結果に基づく作業環境の改善を推進 化学物質の取扱い教育と保護具着用の徹底、および保護具着用の遵守状況の確認を実施 労働安全衛生法に基づく適正に対応 職場のコミュニケーションの推進のための具体的な活動を実施 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 作業環境測定の実施と結果に基づく作業環境の改善の推進（継続） 化学物質の取扱い教育と保護具着用の徹底、および保護具着用の遵守状況の確認の実施（継続） 労働安全衛生法に基づく適正な対応の実施（継続） 適切な報告、連絡、相談や、良好なコミュニケーションの推進
	2.心身の健康増進	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断の結果の有効活用と具体的な指導などを実施 法規制改正による追加の検査項目へ適正に対応 心と体の健康体力作りのための具体的な活動の推進（ストレスチェックなど） 	○	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断の結果の有効活用と具体的な指導などの実施（継続） 法規制改正による追加の検査項目への適正な対応実施（継続） 心と体の健康体力作りのための具体的な活動の推進（継続）

*1 PDCA サイクル

事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。

*2 4M

人（Man）、機械（Machine）、材料（Material）、方法（Method）。これら4つの意味である英語の頭文字「M」をとったもの。

*3 ラプチャーディスク

破裂板。あらかじめ決められた設定圧力で確実に作動する圧力安全装置。

*4 5S 活動

整理、整頓、清掃、清潔、しつけを実践すること。5Sは、5項目のローマ字での頭文字がいずれも「S」となっていることに由来する。

※ 評価の目安

◎：目標を達成 ○：概ね目標通りに活動 △：目標の半分程度を達成 ×：目標未達